



合唱でつむぐ「須恵」のふるさとづくり

校区内の若山公園では、名誉市民である笠井順八翁像が、変わりゆく街並みを静かに見つめています。

かつて「セメントのまち小野田」の中心にあって賑わっていた須恵校区も、今ではすっかり寂れた感がありますが、地域の活動は、自治会協議会、社会福祉協議会、ふるさとづくり推進協議会が三位一体となって、地域住民の全員参加を目標に取り組んでいます。

事業としては、年中行事となっている三世代交流グラウンドゴルフ大会や盆踊り、輪飾りづくり、どんど焼き、さらに校区最大のイベントであるふるさとまつりがあります。これらに加え、最近では子どもたちの安全の確保を最重要課題として取り上げ、地域の各団体が学校と一体となって見守り運動を進めています。

ふるさとづくりを進める上では、「輪」の中で全員が良い関係を保ちながら、共に協力し合うことが大切です。「合唱のまちづくり」を合言葉に、会議の前に

は童謡「ふるさと」をみんなで歌って、和やかに話し合える雰囲気をつくるように努めていますし、そこから素晴らしいふるさとづくりができると確信しています。

校区内には、小野田セメント徳利窯や山手倶楽部、さらに花見の名所の若山公園や、桜並木も美しい須恵健康公園などがあります。ぜひお立ち寄りください。



▲ふるさとまつり



とろろ えがおのまち 4

「やさしさを もらってかえして いい笑顔」

上の標語は、昨年度の山陽小野田市人権教育啓発作品コンクール標語の部で、優秀賞に選ばれた作品（須恵小学校6年・橋本晴可さんの作品）です。

『やさしさ』と『いい笑顔』は、私たちが日々生活していく中で、良好な人間関係を築くために欠かせないものです。

『やさしさ』とは、人のことを気遣い、人のために尽くすことではないでしょうか。自分が悩んでいる時、困っている時、家族や友人、周囲の人から差し伸べられた『やさしさ』は、いつまでも心の中に残ります。

『いい笑顔』とは、心の底からにじみ出る喜びや楽しさを、素直に表現したものです。あいさつをしても、話をしても、『いい笑顔』ひとつで与える印象が変わり、接し方や態度が違ってくるという経験がみなさんにもあると思います。

つまり、この標語で表現しているように、やさしさをもらったり、返したりしていくことが、いい笑顔につながっていくのです。人間関係の希薄化が進んでい

る社会の中で、何気ないやさしさの輪が身近なところから広がって、人間関係を円滑にしていきます。

『やさしさ』で人の心の中に埋もれそうになっている思いやりの心を引き出して、『いい笑顔』のあふれた地域社会を作りましょう。

(社会教育課)



理大 つうしん 13

<http://www.yama.tus.ac.jp>

東京理科大学は今年 125 周年を迎えます

本学の法人である東京理科大学は、平成 18 年 6 月 14 日に創立 125 周年を迎えます。明治 14 年に東京帝国大学（東京大学）の卒業生 21 名が、その前身である東京物理学講習所を創設。その後、東京物理学校、東京理科大学と改称し、理工系総合大学として、これまで 15 万人余りの有為な人材を育成し、わが国の科学技術の発展に寄与しています。

現在、東京理科大学では、創立 125 周年を記念し、イメージキャラクター“坊っちゃん”を使って様々なイベントを企画しています。この“坊っちゃん”は、夏目漱石の小説「坊っちゃん」の主人公が東京理科大学の前身である東京物理学校を卒業したことから、東京理科大学創立 125 周年記念事業にぴったりのイメージキャラクターとして採用されたものです。

本学は、東京理科大学の歴史と伝統を受け継ぎ、平成 7 年に前身の東京理科大学山口短期大学（昭和 62 年小野田市に開学）を改組転換して、四年制大学として開学し、現在に至っています。

そして、今年からいよいよ山陽小野田市との包括的連携協定がスタートします。これまで以上に、大学の知的資源を開放し、市と協働しながら、理科教育や生涯学習の推進に努めてまいりますので、みなさん、是非とも様々な行事にご参加ください。



イメージキャラクター「坊っちゃん」